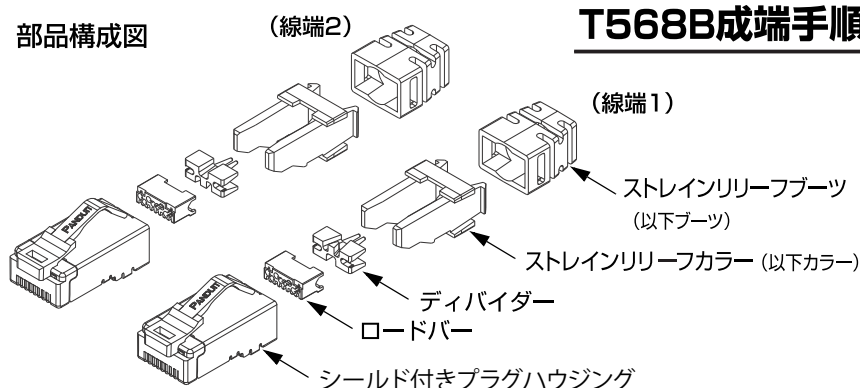


部品構成図



T568B成端手順

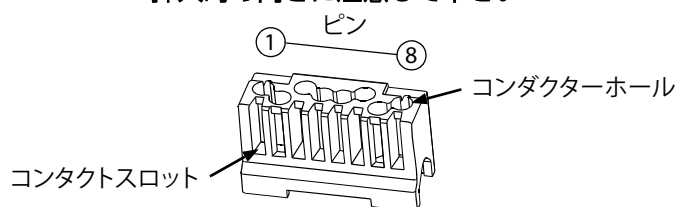
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

■成端仕様

- 外被覆外径 最大7.2φmm
- 心線絶縁径 最大1.2φmmの単線および撚り線
- T 5 6 8 B 結線は茶色対の対角側が橙色対
- ドレーン線付きもしくは編組仕様の F/UTP、U/FTPおよびS/FTP ケーブル使用

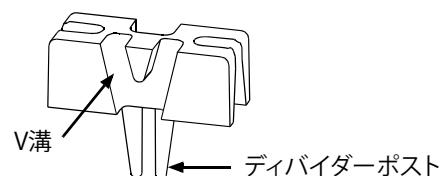
ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

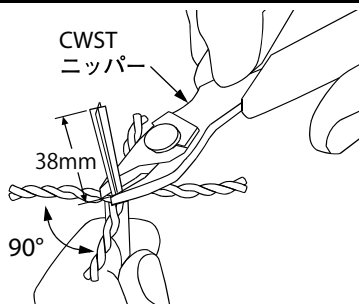
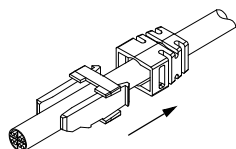


ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



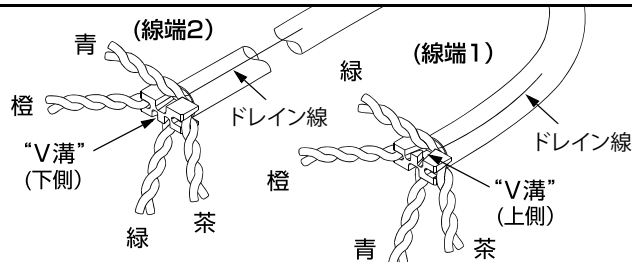
- 1 ブーツとカラーを最初に挿入 (線端1&2)



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から 38mm ほど外被覆を剥きます。
- ◆遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でドレーン線を作ります。外被覆に沿うようにドレーン線を折り曲げます。
- ◆各対を十字方向のように開きます。(放射状)
- ◆中央に介在物 (十字介在) がある場合には、導線を曲げた根本から 4mm ほどの所でカットします。

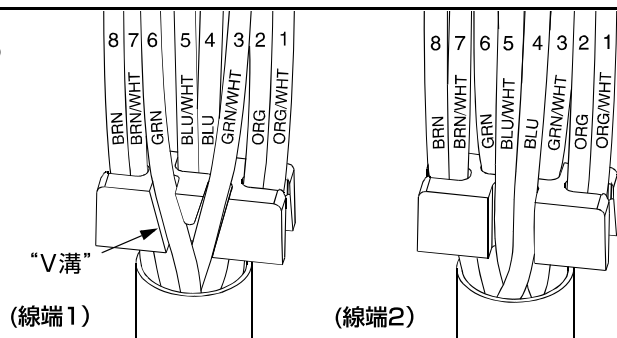
- 2



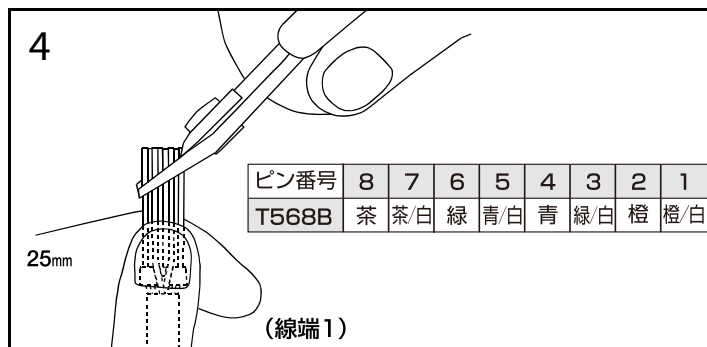
◆ケーブルの両端では構造が異なります。

- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

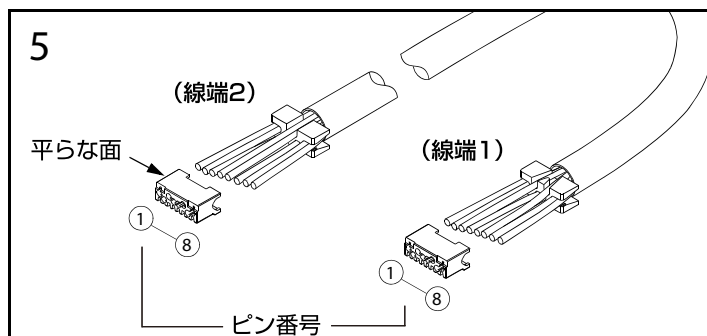
- 3



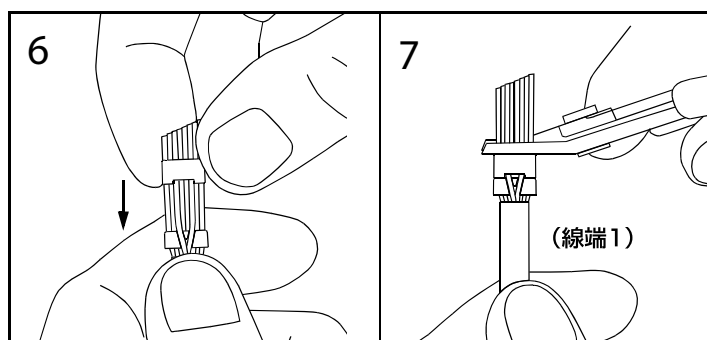
- ◆各対をディバイダーの所まで撚りを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)



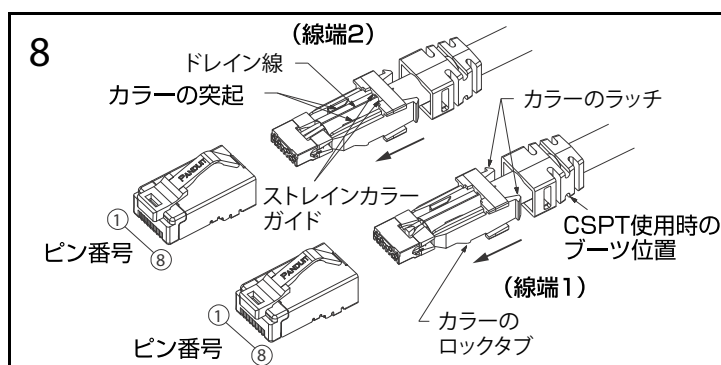
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撚りを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1 番から 8 番ピンまで一列にしてディバイダーから 25mm ほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)



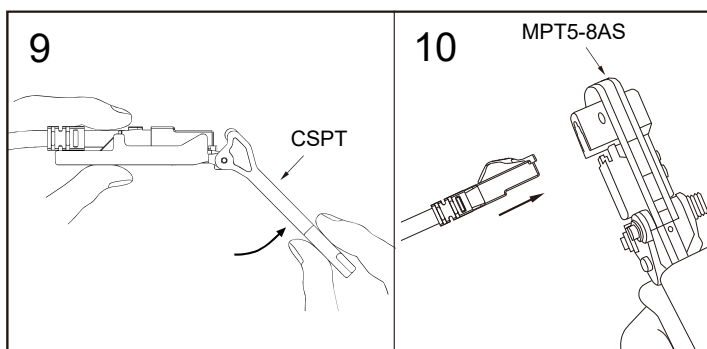
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。



- ◆ ディバイダーとの隙間ができないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1 番と 8 番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

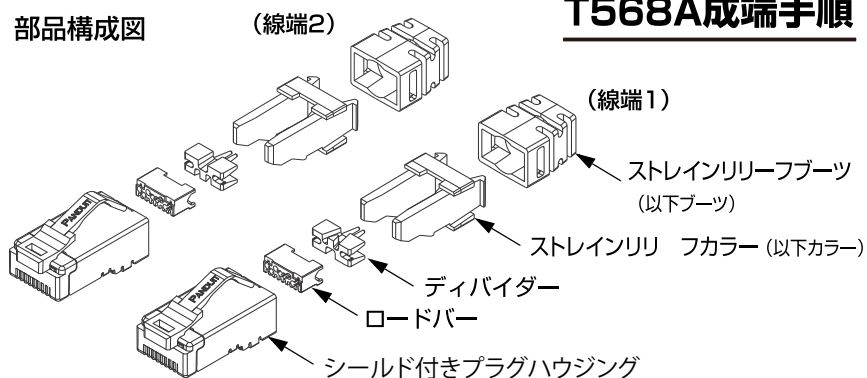


- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ◆ ドレイン線がストレインカラーガイドに沿っていることを確認します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用する時には、ブーツは装着しないでください。



- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

部品構成図



T568A成端手順

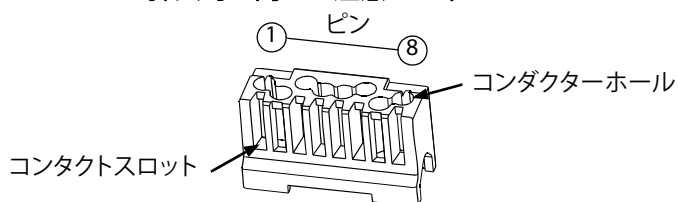
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶/白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

■成端仕様

- 外被覆外径 最大7.2φmm
- 心線絶縁径 最大1.2φmmの単線および撚り線
- T568A結線は茶色対の対角側が橙色対
- ド레인線付きもしくは編組仕様のF/UTP、U/FTPおよびS/FTP ケーブル使用

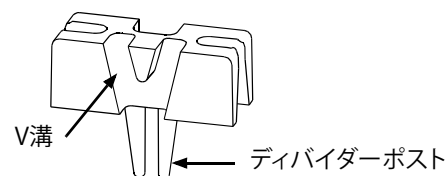
ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

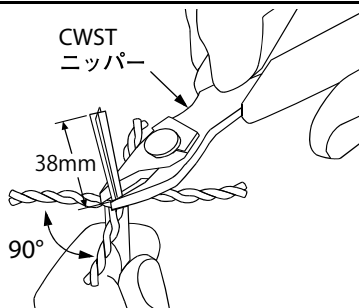
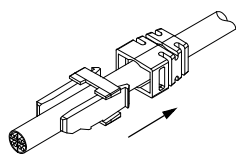


ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



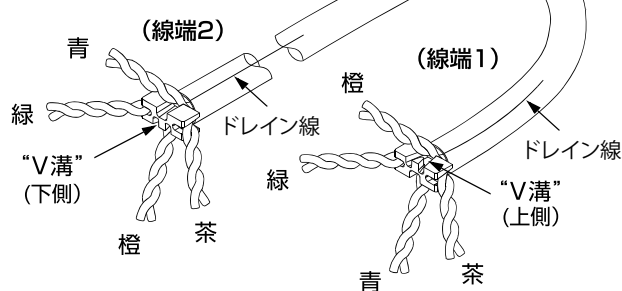
- 1 ブーツとカラーを最初に挿入
(線端1&2)



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から38mmほど外被覆をむきます。
- ◆遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でド레인線を作ります。外被覆に沿うようにド레인線を折り曲げます。
- ◆各対を十字方向のように開きます。(放射状)
- ◆中央に介在物(十字介在)がある場合には、導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

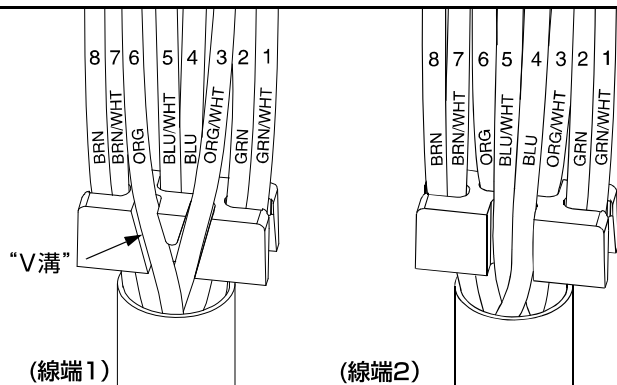
2



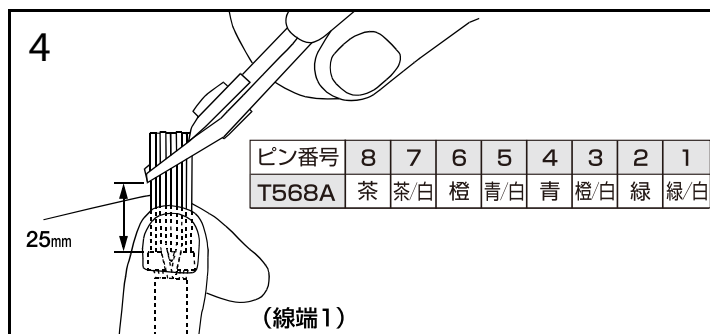
◆ケーブルの両端では構造が異なります。

- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

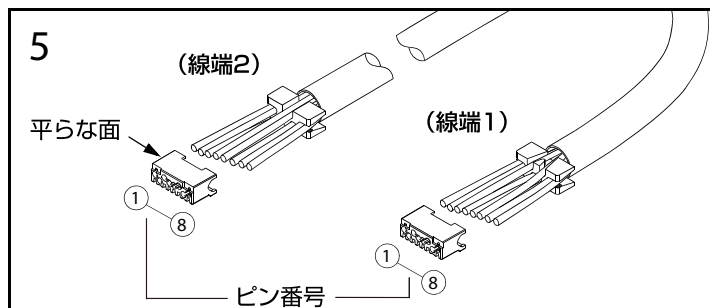
3



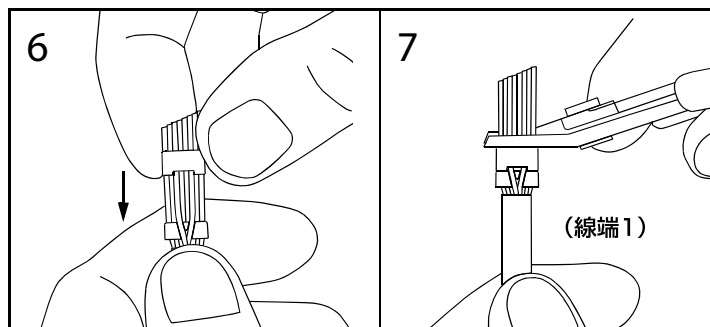
- ◆各対をディバイダーの所まで撚りを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)



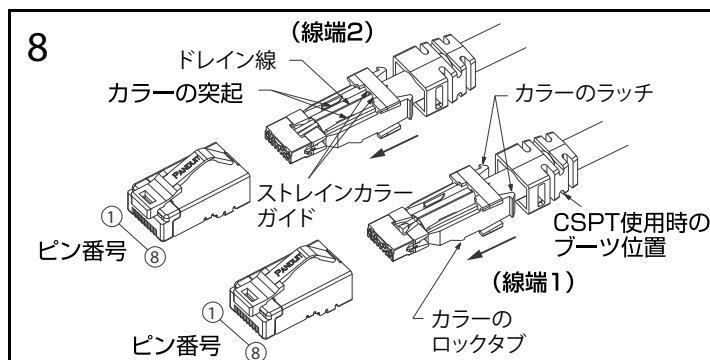
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撚りを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)



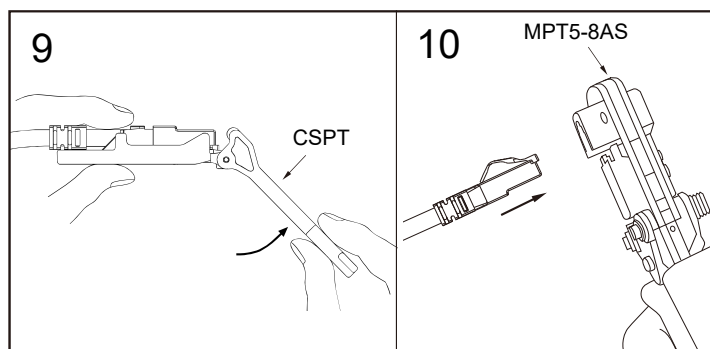
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。



- ◆ ディバイダーとの隙間ができないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ◆ ドレイン線がストレーンカラーガイドに沿っていることを確認します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用する時には、ブーツは装着しないでください。



- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。